

とうきょうすくわくプログラム活動報告書【2025年度】

| | |
|-------|------------------|
| 施設名 | ミアヘルサ保育園ゆらりん荻窪 |
| 法人名 | ミアヘルサ株式会社 |
| 法人所在地 | 東京都新宿区市谷仲之町 3-19 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触遊び

<テーマの設定理由>

様々な素材に親しみ、感触を確かめ、物質が変化していく様子などを探求するため。

2. 活動スケジュール

2025年5月～10月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵具、筆、紙、粘土、氷、タライ、片栗粉、洗濯のりなど

基本的には室内活動だったが、ダイナミックに遊びが広がりそうなときはテラスで活動する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・色水遊び
- ・色水氷遊び
- ・スライムづくり

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

初めは色水遊びを行った。色がまじりあう様子を楽しみ、友だちと色を分け合ったりしながら、色が合わさるとほかの色になることを知った。「これ氷にできる？」という発言を受け、作った色水を凍らせてみた。

氷の感触を確かめた後、「氷と氷は混ざらないね」ということを知ることができた。「クレヨンみたいにかけるかな？」ということで、紙の上を滑らせると絵を描くことができた。スライムは色が混ざり合うのか、という事に着目した児が「先生、ぶどうぐみのときに作ったスライムは混ぜられるの？」と発言し、最終的にはスライムを作り、友だち同士で色を分けて混ぜていることになった。今回は自然と児から疑問が生まれた。保育者は児の疑問を受けて、それを実行するサポートだけで十分だった。

写真

色水遊び



色水を凍らせたもの



スライム作り



5. 振り返り

児の中には、初めての感触に嫌な顔をする児もいたり、触ること自体を拒否する児もいたが、次第にほかのお友だちが楽しんでいる様子を見て気持ちが変わり、最終的には全員で大いに楽しんだ。特に保育者が参加を促すことはしなかったが、「面白いよ」「●●ちゃんの腕にも塗っていい?」「●●くんも一緒にやろうよ」と誘い合う姿が見られた。また、色々な発想が生まれ、それを保育者に積極的に伝え、活動が広がった。

様々な活動を通して、積極的に担任や他児に意見を言ったり提案をする姿が増えていった。そのようなやり取りはほかの活動にも繋がっていき、発表会では年長クラスの子どもたちの会議が行われ、配役やセリフなどが決められていくようになった。